

「未就園児教室」ドキュメンテーションシート

9月「おもいづくりをしよう」担当者名(大坪ななみ)

観点「主体的な学び」

「はんこあそび」	園児の姿(写真等)	エピソード
<p>1</p> 	<p>4</p> 	<p>1歳児2名と0歳児1名の未就園児教室だった。</p> <p>I おいもの興味・関心を引き出すためにおいも掘りに関する「絵本の読み聞かせ」をした。(手立て1)</p> <p>子どもたちは、絵本の世界に入り込んでいたようで、おいもの話に身を乗り出して聞いていた。(写真1)</p> <p>II おいもの見本を示しながら、子どもたち一人一人と対話しながら、おいも制作に子どもたちの気持ちを高めていた。(写真2)(手立て2)</p> <p>III 新聞紙、色紙、のりを使いながら、親子でおいもづくりに熱中していた。(写真3)</p> <p>IV お芋畑に自作のおいもを設置する間、本園のおいも掘りの写真を子どもたちに示すと興味深く、見入っていた。(写真4)(手立て3)</p> <p>V おいも掘りの呼び掛けると、おいも畑に走っていった。特に男児が早く掘りたいと教師の説明中にもつるに手をかけて引き抜こうとしていた。(写真6)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【主体的学びの芽生え】</p>
<p>2</p> 	<p>5</p> 	
<p>3</p> 	<p>6</p> 	
		

[工夫等よかった点]

- 1歳児の子どもたちに興味・関心や制作意欲が連続するために①絵本の読み聞かせ ②おいもの見本 ③制作 ④制作したおいもを埋めたおいも畑 ⑤おいもほりと保育過程の工夫や手立てが講じられていた。
- 子どもたちの関わり、言葉かけが子どもたちの心に響いていたように感じた。
- 未就園児教室であったが、本園が追求している「主体的・対話的で深い学び」の実践の一例として共有したいと思い、ドキュメンテーションを作成した。